

こもろ 市議会だより

6月定例会・7月臨時会

No. **166**
平成28.8.8



9月定例会は、
8月30日(火)開会の予定です



小諸市重要無形民俗文化財「健速神社祇園祭」

小泉新市長の 所信表明を質す

暑中お見舞い申し上げます。

主な内容

- 6月定例会・7月臨時会の概要 …… 2ページ
- 常任委員会報告 …… 3～4ページ
- 代表質問(6名) …… 5～9ページ
- 個人質問(10名) …… 9～14ページ
- 議員紹介コーナー …… 14ページ
- まち再生特別委員会報告・
議会と語る会のお礼 …… 15ページ
- 議会制度改革検討委員会報告・
傍聴席・編集後記 …… 16ページ

副市長及び教育長人事に同意 18歳までの医療費を無料化とする条例改正 など27議案可決

平成28年第3回6月市議会定例会が6月6日から6月28日までの23日間の日程で開かれました。小泉市政となつて初の定例会となり市長の所信表明がありました。議案は副市長及び教育長人事案件、条例改正、補正予算など27議案が提出され、審査の結果すべて同意、承認、原案可決となりました。

主な議案

◆条例
小諸市医療費特別給付金
条例の一部を改正する条
例

今まで中学3年生までを対象とした児童福祉医療の給付事業を18歳を迎えた年度末まで拡充する改正で、平成28年10月1日から施行されます。

小諸市特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

教育長不在時の教育長職務代理者の月額報酬を新たに定めるとともに、

学校医の報酬を、月額千円増額し、18万5千円に改め、小諸市消費生活センター条例の新設に伴い、

新たに消費生活相談員の月額報酬を9万2千600円

と定めるものです。

◆補正予算

平成28年度小諸市一般会計補正予算（第3号）

当初予算に3億8千700万円を増額とする補正予算が可決されました。主な内訳は次のとおりです。

18歳までの医療費無料化の拡充により医療扶助費など42万8千円増額。

緊急医療体制確保のため小諸厚生総合病院への交付金5千万円。

防災関連では、熊本地震を教訓におむつなどの防災用備蓄品購入と避難所の標識設置費用1千643万円。

浅間山周辺の携帯電話不感地域解消のため、黒斑山への基地局の設置費用6千840万円。

教育・子育て費では、坂の上小学校屋根防水工

事費と野岸小学校南校舎解体工事費など1億8千983万円。

NPO法人による保育事業所開設の経費補助費1千650万円。

平成28年度小諸市水道事業会計補正予算（第1号）

総合戦略における定住促進施策による生活基盤整備のための配水管布設工事費1千900万円を増額。

人事

副市長、教育長の選任を同意しました。

副市長

濱村圭一氏（上田市）

前長野県農業政策課長

過去に佐久地方事務所総務課で地域振興を担当

教育長

小林秀夫氏（平原区）

小・中学校校長、小山敬三美術館長などを歴任

意見書

2件の意見書を内閣総理大臣ほか関係省庁へ提出しました。

請願の審査結果

種類	件名	氏名	結果
請願	国の責任による35人学級推進と、教育予算の増額を求める意見書提出に関する請願書	小諸市教職員組合 代表 中沢照夫	採 択
	義務教育費国庫負担制度の堅持を求める請願書	小諸市教職員組合 代表 中沢照夫	採 択

7月臨時会

平成28年第4回7月市議会臨時会が7月12日に招集されました。野岸小学校の管理棟改築に関連する補正予算の議案1件が提出され、審査の結果原案可決となりました。

◆補正予算

平成28年度小諸市一般会計補正予算（第4号）

野岸小学校管理棟改築に係る、地質調査のための委託料600万円と、野岸小学校管理棟解体工事の実施に伴い、仮設グラウンド等を整備するための工事費2千400万円を追加するものです。校庭において体育学習が実施できなくなることから、野岸の丘マレットゴルフコース敷地等を活用するもので、総務文教委員会では、代替候補地への移動時間と安全面等について質疑し、確認しました。

6月20日
福祉環境
委員会
報告

■小諸市医療費特別給付金条例の一部を改正する条例

質疑

支給年齢を18歳に引き上げるにあたり、市の負担は、どれくらい増えるのか。

答弁

年間で1千400万円の負担増の見込みです。レセプト（医療等の報酬明細書）が2ヶ月遅れて請求になるため、今年度は10月から1月の4か月分が必要となります。

■小諸市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例

質疑

改正により設置を義務付けた「運営推進会議」の具体的な内容はどのようなものか。

答弁

虐待防止及び地域協力を得るために運営推進会議が設けられました。事業者が、利用者家族や地元住民の意見を吸い

上げ、またサービスの状況をお知らせしながら進めていきます。

■小諸市消費生活センター

1条例

質疑

条例化するにあたり強化される点は何か。

答弁

今年度より国家資格となった相談員資格試験に合格した者を相談員として置くことにより、相談の質が確保されます。

■平成28年度小諸市一般会計補正予算(第3号)

質疑

地域医療体制整備事業の小諸厚生総合病院に対する5千万円の交付金については、どのような形で市民のために役立つのか。

答弁

主に救急医療体制のた

質疑

小諸厚生総合病院の再構築のために市から別に30億円を支出するが、市として対応改善などの要望はしているのか。

答弁

今年8月に「実務者による組織」が設置されるが、その中で病院として最高のサービスを提供するように要望していきたい。

■小諸市水道事業会計補正予算(第1号)

質疑

通信機器賃貸料でリース契約する、双方向コミュニケーションロボット「ペッパーくん」は、具体的にどういった活用をするのか。

答弁

今年度は水道に関する広報活動や水道使用者の意見を聴取するため水道基本計画策定のための一環として活用します。ま

た、土日は試験的に図書館において本の案内にも広げていきたい。来年度以降は、全庁的な活用を検討したい。



質疑

企業債の借入れについて、条件を比較して借りていると思うが、借入れ先と、そこに選定した理由は何か。

答弁

これまで水道管の更新時期等に合わせ、40年間などの長期で借りていますが、長期での借入れは、公的資金の方が有利と考えているため、財政融資資金と地方公共団体金融機構資金の2か所から借りています。

6月21日
経済建設
委員会
報告

■平成28年度小諸市一般会計補正予算(3号)

質疑

立地適正化計画素案作成のための仮称の「小諸市再生懇談会」を設置することのことだが、委員の構成と今後の活動スケジュールはどうか。

答弁

委員構成は最大7名までとなっており、座長1名を都市計画の識見者とし、ほか6名を健康づくり、高齢福祉、厚生、文化、交流、商業などの分野で関連する部署からの推薦による人選とし、今年度中に主要拠点区域の方針、施策の素案を作成する予定である。

質疑

将来的に払い下げとなる厚生住宅をなぜ、市が費用負担し、取り壊しをしなければならないのか。

答弁

厚生住宅は、市が建設を行い、所有権を有しているが、入居者の希望によって払い下げを行っている。

意見

今回の住宅は、払い下げをしていない住宅で、入居者が亡くなり、土地所有者から取り壊しの申し出があつたものである。

質疑

本来であれば滝原地籍の深沢上堰の改修工事は、高峰土地改良区が事業主体となるべき事業であるが、なぜ市が事業主体となつたのか。

答弁

事業の受益地が滝原区内にあり、高峰土地改良区の範囲から一部外れて

いる。この事業の採択も含め、円滑に進める方法をとったためである。



上堰深沢

ながっている。

検証という面では法人市民税の額や雇用状況の報告等により企業の状況は確認している。

質疑

チェリーパークラインのガードケーブル補修の予算が計上されているが、ガードレールとガードケーブルの設置基準はあるのか。

答弁

特段基準はないが、山岳地帯は、経費の面、距離や間隔的な問題があり、ガードケーブルが設置しやすいためである。

6月22日
文教委員会
総務委員会
報告

■小諸市特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

質疑

消費生活相談員の報酬は月額報酬であるが、勤務日数はどうか。

答弁

週3日で月・水・金曜日の9時から16時までの勤務です。

■小諸市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

質疑

保育士の確保が困難な状況に対処するため、配置要件の弾力化を図る等の改正であるが、直接影響を受ける保育園等はあるか。

答弁

准看護師を保育士数の算定に加える改正を行う

もので、小諸市の公立保育園では該当するところはない。

■平成28年度起債事業同報系防災行政無線デジタル化整備工事請負契約

質疑

防災無線のデジタル化に向けた中継基地の整備であるが、現在使用中の防災ラジオはどうなるか。

答弁

平成34年11月末まではアナログ送信を行うが、それ以降はアナログ方式の防災ラジオは使用できない。防災行政無線情報は既に携帯電話へのメール送信が可能です。

■平成28年度小諸市一般会計補正予算(第3号)

質疑

補正予算の財源として財政調整基金からの繰入金に充てられているが、残金ほどのくらいか。

答弁

平成28年度予算ベースでは21億7千400万円の残高です。

質疑

保育園費での小規模保育事業整備補助金の具体的内容はどうか。

答弁

年齢が0歳から2歳までの乳幼児を預かり、6人から19人以下の小規模な保育事業所を開設する場合に補助する制度であり、現在小諸市において1歳児を預けたいという要望が増えており、また、保育士不足も懸念されていることから有効な補助制度と考えます。

質疑

南城公園プールの今後についてどうか。



南城公園プール

答弁

海の無い長野県においてプールは重要かつニーズも高いと認識しているが、毎年2千万円近い赤字を生んでいる。今後は公共施設管理計画との整合性を図りながらスポーツ振興審議会等の皆様のご意見を聞く中であり方を決めてまいります。

質疑

坂の上小学校屋根防水改修工事をシート防水とした理由は何か。

答弁

これまで実績のあるシート防水・ウレタン塗布防水・金属折パン版葺きの3つの工法について、耐久性・費用等を比較して総合的に判断しました。

提案

防水工事を繰り返しているが雨漏りが止まらない状況である。二重投資を避けるためにも雨漏りの原因を調査した上で工事を行うよう付帯決議を付けてはどうか。

結果

総務文教委員会としては、シート防水工事予算は認めるが、雨漏りの原因を調査した上で防水工事を実施すべきとの付帯決議を付けることを全会一致で決しました。



所信表明から

質問

コンパクトシティ構想についてどうか。

市長

国の示すコンパクトシティによる都市再生整備計画事業が、市街地に集中して実施されたこととは否めませんが、全ての機能をコンパクトに中心市街地へ誘導することは現実的でなく、それぞれの地区の特色を生かしたまちづくりが必要ではないかと考えています。中心拠点や各地区の生活拠点が、利便性の高い公共交通で結ばれた公共交通ネットワークの再構築が一番の課題と捉えています。



創正会 代表

田中 寿光

質問

「クラウドファンディング」による自主財源の確保について。

市長

大型公共事業が続いた小諸市にとって、健全財政を維持していくには、行財政改革により徹底した歳出削減を行うと同時に、現在取り組んでいるふるさと応援寄附金と同様、新たな財源確保に向けた取り組みが欠かせないものと考えています。自治体が行う特定の事業の目的実現のため、インターネットなどで資金提供を呼びかけ、その目的に対して共感した全国の個人などから集めた寄付金により事業を実施するものでございます。

質問

産業振興のための戦略的支援について。

市長

産業振興は、市民の皆様が豊かな生活を送る上で欠かせないものであるとともに、雇用の創出や税収による財源確保という

面からも、市における極めて重要な課題であると認識しており、まさしく戦略かつ効果的な支援が必要と考えています。

質問

「6次産業化推進係」から「小諸ブランド推進係」に変更した理由はどうか。

市長

6次産業化を活性化した農業振興で勝ち抜くためにも、また、高原野菜や果実など農業がさらに魅力のある産業になるためにも、6次産業化を進化させた、小諸ふるさとブランドの推進が必要と考え、組織変更することとしました。

質問

「小諸市観光局」の組織体制と事業内容について。

市長

小諸市観光局の組織体制につきましては、観光関係団体はもちろんのこと、農業関係やまちづくり関係など幅広い分野の関係者の参画を募り、各種団体が連携を図りつつ、それぞれの役割と責務を果たすことで観光地域づくりビジョンの具現化を推進する組織としてまいります。

質問

「情報戦略推進係」の機能充実について。

市長

小諸にはたくさんの方があると強く実感しておるところでございます。その魅力をこの係から国内外に発信していきたいと考えています。この係が庁内各部署から情報を集め、企画調整し、専門家などのアドバイスを受けながらシティプロモーションを行うよう指示しているところでございます。また、小諸市観光局や小諸ブランド推進係との密な連携も必要となっていくことから、この10月にも組織の見直しを行い、機能充実を図りたいと考えています。

所信表明と、行財政経営の課題

(子育て世代への支援)



公明党 代表
柏木今朝男

質問

子育て世代からの要望が強い医療費の窓口負担無料化は、課題となっている減額調整措置の見直しで国で検討中だが、見直されるまでの間、坂城町で実施の福祉医療費事前貸付制度や500円のレセプト負担分を200円助成する等家計負担軽減策はどうか。

民生部長

国の減額調整廃止動向を注視したい。

質問

子育てにかかる経済的負担軽減を公約に掲げる市長として、妊産婦の医療費無料化実施によって、この制度としては一定の対象者拡充実現となるがどうか。

市長

今後の検討課題としたい。

質問

「経済的理由によって、一人も就学を諦めることがあつてはならない」との観点から、奨学金制度の拡充を図るべきと考えるが、市長公約の奨学金制度の充実は、いつからどのように図っていくのか。

市長

具体的にはこれから検討していく。

質問

5月に改正発達障害者支援法が成立したが、この発達障がいに対する認識と現状はどうか。

市長

少子化の社会において反比例で増えている現状があり、人脈をフル活用した支援体制を図っていききたい。

意見

市長には庶民目線で、市民の幸せのための市政経営をどこまでも貫いていただきたい。

市民の負託を受けていることを

常に意識して、市政を担ってほしい



日本共産党 代表
柏木博美

質問

市長、議員は共に市民の負託を受け、市民福祉の増進を図るため働いている。議会は市民の代表としての議員が合議で決定するのに対し、市長は一人で決断することができ。市長に就任し、このことをどのように受け止めているか。

市長

私の一つ一つの言動が大変重いものだと感じている。私が原点としている市民のためになるのか、小諸市を発展できるのかという視点をしっかり踏まえて決断していききたい。

質問

厳しい経済状況が続き、安定

した収入が得られない等、様々な困難を自己努力では解決できない市民をどう支援するか、行政の役割が問われている。納税したくても様々な事情で滞納している市民も市民サービスが制限される。悪質な滞納者でない限り、市民福祉の向上の観点から、市民サービスは提供すべきと考える。市民福祉の向上と公平性についての見解はどうか。

市長

そのような考え方も一方にはあるが、大原則は、納税という憲法に定められた国民の義務を果たすことは当然だ。制限している行政サービスの多くが市の単独事業であり、その財源は他の市民の税金が充てられている。公平性を確保するには滞納がないという客観的な事実で判断することが合理的である。行政サービスの制限が目的ではなく、実態に即したきめ細やかな納税相談を心掛け、納税が促進されるよう努力していく。

質問

同和団体の補助金等については、特定の運動団体に長年にわたり多額の補助金等を出し続けてきたが、差別解消が図られていない。人権政策の事業として有効であると考えるか。

市長

部落差別は行政だけで解決できる問題でなく、団体の主体的で積極的な活動が不可欠であり、引き続き団体に対する支援をしていく必要がある。

質問

日本では6人に1人の子どもが貧困状態にあり、学力にも関係があるといわれている。小諸市の教育として、子どもの貧困について、どのように考えているか。

教育長

教育の面だけからは難しい。市の総合計画の中で考えなければいけないものが沢山ある。教育面では、楽しい学校、全体的な学力向上の対策をしていく。児童館等の活動などもある。総合的にやっていくことではないかと思う。

市政運営について
(市役所改革と健全財政・継続事業の対応等)

質問

市役所改革と人事異動の考え方はどうか。

市長

職員が市役所は市民の皆様に対する市内で一番のサービス業であることを再認識し、職員個人が有する能力を最大限発揮できるような環境づくりをするところが市役所改革の推進となります。人事異動については適材適所を心がけ、職員のやる気と能力を活かすこと、さらに女性職員の管理職への登用を視野に入れた行なったところです。

質問

財政面から公共施設についても他市町村と共同で建てるよう



新政会 代表
清水喜久男

な検討はどうか。

市長

例えば、大規模収容施設については、小諸市で必要なのか、佐久広域で経営できないか模索していく必要があると思います。

質問

ふるさと納税については、各自治体の返礼品合戦が激化しており、総務省は換金性の高いプリーペイドカードや高額な物、返礼率の高い(7割とか8割)返礼品については自粛を求めています。小諸市の返礼品は返礼割合も3割程度で高額な品物もなく、小諸オリジナルな独創品もないので、返礼品の充実について検討が必要ではないか。

市長

現在の返礼品についてはバリエーションを付け、将来を見据えた返礼品という事で考えると、小諸に来て頂くような自然体験や温泉旅館の宿泊券を加えることにより、小諸市をさらに愛して頂き、魅力を感じて頂く

ことにより、引き続き寄付して頂くような発展性のある返礼品を考えてまいります。

質問

糠地から高峰高原までの深沢溪谷は「新日本歩く道百選」に選ばれており、景観も大変良い所ですが知られていません。その対応について伺います。

市長

知ってもらわなければ来てもらえない。また、魅力を感じてもらうためには、来て頂く仕掛けが必要だと思います。情報戦略推進係を作り、国内外に対して情報発信することも一つの仕掛け作りでございます。

質問

浅間山麓高地トレーニングエリア構想の事業が進んでいない状況下で、スポーツ推進計画では総合グラウンドに400mの陸上トラックの整備が計画されているが、高地トレーニングエリア構想との整合性はどうか。

教育次長

高地トレーニングエリア構想では、総合グラウンドは準高地の拠点と位置付けられているので、構想と整合性をとり進めたい。

「市役所の改革」と
「健全財政の確保」にどう取り組んでいくのか



市誠会 代表
山浦利夫

中で改善をしていく。

質問

職員の意欲や能力を最大限発揮できる人材育成と職場づくりを計画的に取り組んでいくことが重要だ。人材育成基本方針の見直しについて考えているか。

総務課長

小諸市の職員人材育成基本方針は、策定してから10年程経過している。必要な見直しを今年度していく予定です。

質問

健全財政について、小諸市の課題をどう捉えているか。

市長

歳出を抑制するばかりでなく総合戦略による定住人口増加策や企業立地の推進など、将来の市税収入の増加につながる取り組みを積極的に進めていくことが重要だと考えている。

質問

公共施設等総合管理計画は、どのような考え方で策定しているのか。

市長

将来の人口減少や財政状況に対応した施設の適正な保有と適切な維持管理を実現することが将来の財政負担を軽減し、健全財政を維持していくためには欠かせないことだと考えている。

質問

施設の共同利用など、広域連携についての考え方は。

財政課長

広域連携を強化することにより、施設数の縮減や維持管理費の削減など財政負担の軽減には有効であると考えている。

質問

管理計画は、施設の維持管理だけではなく、まちづくり全体の視点をもって策定していくことが重要と考えるがどうか。

財政課長

まちづくりの計画と十分整合をとりながら進めていくことが必要と考えています。

質問

施設の縮減や統廃合など市民にとっても厳しい対応が想定される。外部機関での検討も必要と思うが、第三者委員会の設置についての考えは。

財政課長

計画策定に際しては、第三者委員会で審議をいただくことを予定している。

質問

第10次基本計画は、どのような考え方で策定するのか。

市長

策定にあたり重視すべきことは、第5次基本構想との関連・関係性と選挙時の公約を計画に反映させていくことになる。

今年度中に策定するとともに策定と同時に運用を開始し、計画期間は、市長任期に合わせて今年度から平成31年度としていく予定です。

質問

新焼却施設「クリーンヒルこもろ」の運営状況は。

市長

供用開始して以降順調に稼働している。搬入された燃やすごみの量は4カ月の集計で1千861トン余となっている。また、3カ月の処理実績から算出した処理費用は一トン当たり2万6千99円となり、当初見込んでいた処理金額より一万円程度安くなっている。

市長 職員の意識改革や市長の思いについての受け止めは。
しっかりと取り組んではいるが、まだまだ改善の余地はある。今後も職員と話し合いなどを行う

質問 市役所の改革はどのような考え方で進めていくのか。
市長 職員個人の有する能力を最大限発揮できる環境づくりをすることが市役所改革の推進力となると考えている。具体的には①組織の人事、②小諸版カイゼン方式の導入、二つの基本的なスタンスで進めていく。

所信表明を受けて

質問

所信表明が、就任に当たって4年間の方向性を示すものとしては物足りなさを感じるが。

市長

温かくも厳しい叱咤激励をいただいた。山積する課題を直視し、愚直に解決に向け実行する中で小諸は変わったと感じてもらえるようにしたい。

質問

市役所改革は、制度やシステム編纂だけでは絵に描いた餅になりかねない。組織、職員の意識改革についてどう考えるか。

市長

市役所は、市民の役に立つところ、市内で一番のサービス業



改革の嵐 代表
福島 鶴子

であるべきと考える。リーダーとしてしっかり職員と対話しコミュニケーションをとり市長としての真意、方向性への覚悟をわかかって貰えるようにしたい。

質問

具体的手段として、地区担当職員制度の充実を挙げている。位置づけが不明確な為、職員の関わり方に温度差がある。実効性を考え今後の取り組み方は。

総務部長

地区担当としてやる時は業務だが、地域に住む職員として地域活動に参加し、信頼される職員となる事も大事と考える。

質問

地区担当として得た情報を庁内各担当が共有し、地域に返す手段として、庁内LANの活用は考えられないか。

総務部長

市全体のきめ細かな情報を庁内で職員が共有し業務に活かす事は非常に重要と考える。提案いただいた事を参考にした。

個人質問

小泉市長の下、小諸市の展望について 小諸市の喫緊の課題について

質問

コンパクトシティ構想をどのように見直すのか、今求められるまちづくりのあり方はどうか

市長

大型公共工事への投資は一段落し、今後はこれらの財産をどう生かして、市民が幸福を実感できる市政を実現できるか、ソフト事業への転換を図っていく必要があります。しかし、全ての機能をコンパクトに中心市街地へ誘導することは現実的ではなく、それぞれの地区の特色を生かしたまちづくりが必要ではないか。そこで、今後のまちづくりの方針の柱としては、小諸市全域を見渡した面的な公共交

通ネットワークの再構築が一番の課題と捉えており、今後小諸市に適した地域公共交通の在り方を模索し、小諸市なりのコンパクトシティを目指してまいります。

質問

旧大塚駐車場の跡地利用はどうか。

市長

地元から要望の多い駐車場としての利用について調査を行い、住民参加によるまちづくりに関する協議の場を設け、周辺の将来像や関係者の意向を取りまとめ、基本設計及び詳細設計まで進めさせていただき、平成29年度事業による工事着手を予定しています。旧大塚駐車場跡地につきましても、当面の間、関係団体の協力を得ながら、観光客周辺商店街の皆さまなどにご利用いただけるような、土地利用方法を検討してまいります。



丸山 正昭
(市誠会)

3月に引き続き ふるさと納税による 税収増に向けて



高橋 公
(市誠会)

つている皆さんが中心になってくるかと思う。潜在的な小諸を応援して頂ける方、そういう方々を取り込んでいきたい。

質問

企業版ふるさと納税に対する市長の思いは。

市長

それ相当の収入を得られている方が小諸に親近感を持って頂けるのであれば、ぜひ小諸に企業版のふるさと納税をお願いしたいと働きかけはできる。

質問

姉妹都市とは具体的にどんなことをやろうと思っているか。

市長

小諸はメニューが少な過ぎる。小諸の新たな返礼品の開発を小諸ブランド推進係と作っていく。山の幸だけじゃなくて姉妹都市の滑川市、大磯町、そういうところの海の幸、山の幸をセットにしたようなものが必要ではないのかなというところで取り組んでいきたい。

質問

ふるさと納税で、一番幅広く求めるターゲットというのは、どういう層になるのか。

市長

高齢者を中心としたお金を持

小諸ふるさとブランドの立上げについて 6次産業化拠点施設(道の駅)の整備について



小林 一彦
(市誠会)

市長

究極的には農家の所得向上を図ることを目的としている。そのためには、農業、農地自身が稼ぎ出す力を持つことが必要で、この稼ぎ出す力の元になるものが小諸ふるさとブランドです。

質問

6次産業化拠点施設(道の駅)は、小諸ふるさとブランドを推進していく上で大きな役割を果たすと考えるがいかがか。

市長

小諸の魅力の総合、集合だと思っております。小諸市には歴史、文化、自然に加え、歴史が積み重なった商品や風土に基づく特産品など貴重な財産、資源が他の自治体に比べ数多くありますので、これらを磨き上げたり、再発見、発掘したり、新たに生み出すことが小諸ふるさとブランド創出の基本になると考えています。

質問

小諸ふるさとブランドの目的と期待される成果は。

市長

6次産業化拠点施設については、そのメリットを生かすことで、小諸ふるさとブランドの推進と育成する役割が果たされるものと考えている。

整備については、私も後ろ向きということじゃなくて、あくまでも前向きに考えたい。

継続性、持続性、また収益性、様々な要素をしっかりと検討した上で、必要性が認められれば取り組んでいくが、道の駅ありきでは話は進めない。

新庁舎に関する施設の課題と 野岸小学校耐震補強工事未実施の事後処理について

質問

新庁舎の利用については、駐車場の利便性が大きな課題となっていた。開庁から9か月が経過し、利用者から多くの苦情が寄せられたが、それらの課題については、どう改善されたのか。

建設部長

ご指摘のように多くの苦情が寄せられており、看板設置や誘導員の配置等を行ってきた。

今後も、駐車場の通し番号の表示や誘導の路面標示のカラー化などの研究を行い、さらに改善させていく。

質問

施設内の喫煙場所については問題がないか。

市長

現在の場所については適当ではないと考えている。今後は、敷地全体の禁煙を視野に入れながら設置場所の検討をしていく。

質問

耐震補強工事未実施問題の事後処理で懲戒処分を行ったが、市民が十分納得できる対処であったのか。また、今回の処分で幕引きになるのか。

市長

第三者委員会による調査結果から、平成17年当時の教育次長には聞き取りを行ったが、責任者であった元市長や教育長への聞き取り調査がされていない。

また、当時の学校関係者への調査もされていないことから、調査が不十分であったとの認識です。

教育次長

行政の中ではこれ以上の調査は難しいが、市民の信頼回復のため、誠実かつ真摯な姿勢でこの問題にあたっていく。

市長の考え方を質す！ 「公約・学校改築計画・保育料無料化等」について

質問

公約実現のため翌年度の予算編成と施策の優先順位はどうか。

市長

財源等も考慮しながら予算編成し、順位は公約事業に限らず全事業の中で判断していく。

質問

学校改築計画はいつを目途に。

市長

平成28年度中の結論は実現不可能であるが、早い段階で市民と協議し、策定していく。

質問・提案

小学校6校の老朽化進捗調査を至急やるべきではないか。

市長

庁内で検討していく。

提案

第3子以降の保育料無料化を実現して欲しいがどうか。

市長

保育料全般での負担のあり方についても検討していく。

質問

災害時での応急仮設住宅の候補地が未定だが、場所の確保を。

市長

庁内会議を開催し、小諸市防災会議で決定していく。

提案

旧ヴィオ跡地は厚生病院スタッフへの駐車場としてはどうか。

市長

貸付か売却処分として、自主財源確保へと図っていききたい。

質問

2年前に18歳医療費無料化を提案した際、財源等要検討と回答されていたが、提案理由は。

市長

財源見通し出来、一般財源支出とするが、ふるさと納税等で財源へ充当できるよう努力する。



中村 憲次
(新政会)



竹内 健一
(創正会)

深沢溪谷の道を小諸市の観光名所に



土屋 利江
(公明党)

質問

松本市の食品ロス対策の30・10運動の取り組みは。

市長

宴会開始後30分は席の移動はしない、終了10分前は自席で食事を楽しむ。小諸市も取り入れたいと考えます。

質問

小諸市の災害備蓄食品の有効活用はどうか。

市長

非常用食品の保存期間は、大半が5年で、期限が近くなったものは、小中学校での防災教育や自主防災組織が行う災害訓練等で、廃棄することなく有効活用しています。

質問

みはらし交流館から高峰高原ホテルまでの道が、新日本歩道紀行100選に認定されたが、周辺整備をどう進めていくのか。

市長

道路舗装は既に整備されているので、情報発信の強化により小諸市の観光名所の一つとなるよう対応を検討します。

質問

積極的なPRは。

市長

情報戦略推進係、小諸市観光局とも連携し、情報提供をしていきます。

質問

地元地域への波及効果はどうか。

市長

深沢溪谷の道を生かした着地型観光の商品化により、みはらし交流館の利用者、地域の民宿への宿泊客と公開庭園に訪れる方の増加につながり小諸ふるさとブランドの向上につながります。

熊本地震の教訓に学べ 太陽光発電に一定のルールづくりを



掛川 剛
(日本共産党)

質問

大地震が頻発するようになっていく。専門家によると日本列島は地震の活動期に入ったのではないかと言われている。小諸地域防災計画の実効性を高め、いくことが重要だが、どのように考えているか。

市長

これまで自主防災組織の立ち上げ、防災士研修等に取り組んできたが、いっどこで発生するか予測が難しい地震への対応として、被害状況や被災者が必要とする物資の把握方法、ボランティアの受け入れ体制、避難所運営など実践を想定した訓練の必要性を感じている。

質問

家庭用防災マニュアルが配布されているがどのように活用されていると考えているか。

総務課長

なかなか活用されていないのが実情だ。いろんな機会にマニュアルの説明も含め啓発活動をしていきたい。

質問

太陽光発電は原発事故の教訓から自然エネルギーへの転換を図る上でも必要だと考えているが、山林・農地への設置に関して現地でトラブルの発生も聞いている。現状で良いと考えているか。

市長

環境条例により500㎡以上は届出が必要で地元区、隣接地権者地域の皆さんへの説明経過書類の提出を義務付けており、そこで意見が交わされている。

意見

設置にはルール作りが必要。国・県に改善要望をすべきだ。

オープンデータ・坂の上小学校の改修 小諸高校と小諸商業への期日前投票所の設置

質問

「オープンデータ」の先進自治体を目指してはどうか。

市長

自治体によるオープンデータの取り組みは、地域課題の解決に向けて、市民の皆様と課題を共有し、その解決策や実現策を一緒に考える上で、非常に有効である。小諸市においても、国のガイドラインも参考にし、様々な団体と連携しつつ、オープンデータの効果の明確化を図りながら、積極的に取り組みを進めていく必要があると認識している。

質問

坂の上小学校のトイレ・階段

などへの対応は。

市長

雨漏りの解消は待ったなしの課題であり、関連予算を本会議に上程している。トイレ・階段の改修についても、緊急に対応すべきであると考えている。

トイレの排水管補修、階段の床材や滑り止め等の補修を夏休み期間中を目途に行う。

質問

選挙権年齢の18歳まで引き下げを背景として、小諸高校と小諸商業に期日前投票所を設置してはどうか。

選挙管理委員会委員長職務代理

高校の校舎に期日前投票所を設置することによって、高校生の投票率向上などが想定されるが、防犯上の課題などもある。

先進自治体の事例を十分に検証し、それを学校に示し、先生方や投票する生徒の声にも耳を傾け、これらを踏まえた後に、設置に向けての検討段階に入ることになる。



小林 重太郎
(改革の嵐)

公務職場における同一労働の格差解消を

質問

保育園でのクラス持ちの先生で正規職員と臨時職員の仕事の内容や責任の違いがあるか。

教育次長

基本的には無い。

質問

クラス持ちの嘱託職員である臨時職員と正規職員の比較で月額報酬は正規職員30万7千500円

で非正規の臨時職員は16万9千500円で約2倍の開きがある。昇給や昇格もないため何年働いても16万9千500円。年次有給休暇は正規職員は20日が付与されているが非正規職員は勤続7年目以降ではじめて20日が付与される。病気やけがにおける療養休



早川 聖
(日本共産党)

暇は正規職員は90日以内、非正規職員は10日以内。産前産後休暇や生理休暇等があるが無給扱いの休暇となっている。他の職場においても同様のこと、これは正常な公務職場なのか。

市長

数字だけを客観的に見れば大変な状況と思う。

質問

保育園の運営にとって非正規雇用の保育士がいなければ、園の運営は1日たりともできないのが実態。しっかりとした労働に見合った賃金や処遇の改善、そして正職員化が必要ではないのか。

市長

できる限り対応をさせて戴く。処遇改善が必要であることは認識しているのでやってまいりたい。

教育長

予算に係わることなので十分に協議し、いい方向がとれればいいと願っている。

公共交通は生活を支える重要インフラ
もっと利便性向上を図る取り組みを!!



神津 眞美子
(新政会)

質問

すみれ号は11路線あったが、現在の定時定路線は7路線に減り、運行されていない交通空白地帯が出ている。菱野の住民から通勤の便がなくなっているがどうしているか。

建設部長

利用者にとって不都合な部分があるので、一年かけて形成計画を立案していきたい。

質問

人口減少社会を迎えている中で交流人口増をめざしていくというのに、昼間小諸を訪れた人たちのための公共交通がないのは問題ではないか。

市長

おっしゃるとおりで、庁内で考えて検討してまいりたい。

質問

より便利な交通を整備したと言いつつ、利用客は減っている。4月の一カ月を例に見ると、2千164人減。糠塚園の個人利用者は半年で3千600人減っているが、どう認識しているか。

建設部長

関係部署とか交通事業者とも連携して検討してまいりたい。

質問

すみれ号の運行事業費は6千万円余りで、そのうち小諸市の負担は約3千万円だった。本年度の公共交通の市の当初予算は7千700万円だが、どうか。

建設部長

経済的、経営的にも精査させていきたい。

意見

公共交通は日常生活を支える重要なインフラで、ライフラインとも言える。安心して暮らし続けられるよう整備すべきだ。

議員紹介コーナーへ おいでなんし パート3

質問事項 ①居住地 ②趣味 ③座右の銘 ④つぶやき

9番 柏木今朝男議員
会派 公明党



- ①一ツ谷
- ②旅行・読書
- ③誠心誠意
- ④一人を大切に、誠実の行動を貫きたい。

8番 竹内健一議員
会派 創正会



- ①加増
- ②高校野球観戦・アウトドア・登山
- ③意志あるところに道はある
- ④次の世代のために「進めよう！」ともに「新しい小諸づくりを！」私たち責任世代の使命です。

7番 早川聖議員
会派 日本共産党



- ①南町
- ②歴史探訪・自転車
スマホ写真
- ③努力すれば成し遂げられる。
- ④あべ暴走政治ストップ！
改憲は許さない！
平和が一番！

6月23日
まち再生
特別委員会
報告

小諸厚生総合病院が来年12月の開院予定であることから、「小諸厚生総合病院の移転新築及び運営等に関する基本協定書」中の協議事項については、病院側との協議内容と、その進捗状況について、また、第10次基本計画策定のスケジュールについて、それぞれ担当課より報告を受けました。

基本協定書の協議事項
*「実務者による組織の設置」について
・7月中旬に病院内で組織決定を行い、8月には組織を設置し、利用者等地域の意見を吸い上げ、病院経営に活かしていく。
・委員からの意見
組織の立ち上げが遅すぎるとは感じないか。
病院側の積極性に疑問を感じる。

・担当課の答弁
病院側からは、「利用者等の意見を取り入れ、より良い病院づくりに反映していくために、来年12月の開院に向けてしっかりと取り組んでいく」と聞いている。



小諸厚生総合病院建設

議を行っていく。
・委員からの意見
運営経費の負担方法は、面積割りだけではなく、利用台数についても加味するべきではないか。

第10次基本計画策定
第10次基本計画策定については、12月定例議会に提出予定との報告を受けました。
・委員からの質疑
地区懇談会はどのようによつていくのか。
・担当課の答弁
7月に地区担当職員への説明会を行い、地区ごとに検討していく。

*「駐車場の利用方法等」について
・新庁舎開庁から8か月の間の駐車場の利用状況のデータを基に、庁内調整会議で検討を行うとともに、運営経費の負担割合や駐車場の誘導案内などについて、今後病院と協

委員会の今後の取り組み
・昨年12月に市長に提出した提言書の内容が、第10次基本計画に反映されるよう経過を見守るとともに、議会として調査、研究を行っていく。
・小諸厚生総合病院との基本協定書の履行などについては、引き続き注視していく。

議会と語る会を
開催しました



議会と語る会の様子

今年度で9回を数える「議会報告会」は、区長の皆様のご協力を得て、各地域8会場で開催し、総勢254名のご参加をいただきました。ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。
今回は「公共交通」と「学校改築計画」をテーマとして、10月に本運行する「愛のりくん」また、「小中学校の将来のあり

方」について意見交換を行いました。
以前から、市民の声がなかなか反映されないとの指摘を受けていたため、今年度は、皆様からいただいた意見や提案を新年度予算に組み込むことができるよう、例年11月の開催を5月に前倒しして開催しました。議会として、いただいた提案等を担当常任委員会で精査し、9月議会を目的に行政へ提言していきます。
今後も、議会として、より多くの市民の皆様の声をお聞きしながら、諸課題について協議を重ねていく所存です。

開催日	会場	対象地区	参加者
5月16日(月)	市役所3階	東部・中部・西部・東南部	58人
5月17日(火)	御影コミュニティセンター	南大井	36人
5月18日(水)	諸公民館	大里	31人
5月19日(木)	J A 佐久浅間 北大井支所	北大井	26人
5月20日(金)	久保公民館	川辺	36人
5月23日(月)	J A 佐久浅間 三岡支所	三岡	25人
5月24日(月)	糠地公民館	西小諸	29人
5月29日(日)	市役所3階	全地区対象	13人
参加者合計			254人

ご参加ありがとうございました

議会制度改革検討委員会報告

『小諸市議会基本条例』の制定に向けて
市民の皆様のご意見をお寄せください。

議会制度改革検討委員会では、現在「小諸市議会基本条例」制定に向けて策定作業を進めています。

議会基本条例は、議会が地方分権の進展や様々な社会情勢の変化に対応し、豊かな小諸市の実現に寄与するため、その責務や活動に関する基本事項を定めるものです。

策定にあたっては、市民の皆様からご意見をいただきながら、より充実した内容にしていきたいと考えています。

ついでには、9月中旬以降に小諸市議会基本条例(案)を小諸市のホームページに掲載するほか、図書館・文化センターにご意見を募集致します。また、説明会を開催いたしますので、多くの皆様からのご意見をよろしくお願い致します。
*ご意見募集期間：10月12日(水)まで

9月定例会のご案内

傍聴をお待ちしております。

- ・開会日 8月30日(火)
- ・一般質問 9月7日(水)～9日(金)
- ・委員会 9月12日(月)～16日(金)
- ・最終日 9月23日(金)

基本条例説明会開催

～議会の基本条例について一緒に考えてみませんか？～

日時 平成28年10月12日(水)
19時～

場所 小諸市民交流センター ステラホール

編集後記

6月議会は、新市長を迎え、傍聴者も多く、新鮮な緊張感に包まれた中で開催されました。一般質問中、連日傍聴席で見かけたN氏とK氏。新市政への期待からでしょうか、久しぶりに姿を拝見したS子さん。そんな皆さんの目に議会はどの様に映ったでしょうか。世界に目を移すと、バン格拉デシユの人質テロ事件で日本人7名を含む22名が犠牲となり、直後にはバグダッドでも爆弾テロが起き、多数の犠牲者が出たとの報道が続いています。

世界中の誰もが、与えられた人生を一生懸命生きているのに、不幸な不幸が突然押し寄せ命さえも奪ってしまう。「生きる」事の意味さえ見失いそうな出来事が多過ぎますね。そんな事を考えながら足元を見ると、小さな蟻が自分の身体と同じ位の大きな餌をくわえ歩いています。そう言えば蟻には「利他的行動があり、仲間と餌を分け合っていて生きている」と聞いた事があります。人間も蟻を見習いたいものです。そうすれば世界から戦争などは無くなると思うのです。

(福)

傍聴席



乙女区
松尾 政行 さん

私は電動車椅子ユーザーですが、「議会と語る会」に参加した時にある議員さんが誘ってくれたので、興味のあった6月20日の福祉環境委員会を

傍聴してみました。最初に税務課で用を足したのですが、税務課の職員がそのまま4階の委員会室まで案内してくれて有り難かったです。委員会は議員さんと職員さんの双方が真剣なやり取りをされていて好感が持てましたし、私自身が介護を受ける立場なので私ももっと勉強しなければ、と思いました。新庁舎は段差がなく、職員の方々の挨拶も気持ち良かったのですが、市内の商店の半分以上は段差があり車椅子では入

りません。その辺も考えて貰いたいものです。私は車椅子を使い始めてから3年ですので、健常者と身障者の両方の気持ちが変わります。今一番興味があるのは小諸市の公共交通です。金沢市のように相乗りタクシーが車椅子でも使えたら、いつも思っています。ですから今回は経済建設委員会か、本議会での相乗りタクシーをテーマとした一般質問を聞いてみたいと思いました。

